

祖国とふれ人への想いがふわりと香る
フレデリック・フランソワ・ショパン
 Frédéric François Chopin (1810-1849)

C
 2025 DECEMBER
 [第2053回]



19歳のショパン。
 彼の名を冠したショパン国際ピアノコンクールは、
 世界最高峰のコンクールとして5年に1度
 ワルシャワで開催されています

©IKE

ショパンは、《ピアノ協奏曲第2番》の〈第2楽章〉を「理想の人のことを思って作曲した」と親友への手紙に書いています。19歳の彼は、思いを寄せる女性に出会ったのです。たしかに、この曲の甘く美しいメロディは、好きになった人の面影を夢見るロマンチックな気分そのもの。親友への手紙のなかに、肝心のその人の名前は書かれていません。恋こがれた「理想の人」への想いは結局成就することなく、その後ショパンはワルシャワからウィーンへと旅立ちます。《ピアノ協奏曲第2番》は、いわば故郷での青春のまっただ中で生まれた作品でした。